

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 星医療酸器
 コード番号 7634 URL <http://www.hosi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 星 幸男
 (氏名) 岡田 利夫
 配当支払開始予定日

TEL 03-3899-2101
 平成23年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,098	2.6	490	△0.5	498	△3.2	284	△6.3
23年3月期第2四半期	3,993	4.7	493	6.5	515	7.9	303	2.5

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 272百万円 (1.9%) 23年3月期第2四半期 267百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	85.44	—
23年3月期第2四半期	91.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年3月期第2四半期	11,072		7,654		67.7	
23年3月期	10,800		7,448		67.6	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 7,497百万円 23年3月期 7,296百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
24年3月期	—	20.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,600	4.5	1,050	△4.5	1,070	△4.3	640	△18.2	192.55

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	3,601,681 株	23年3月期	3,601,681 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	277,860 株	23年3月期	277,814 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	3,323,855 株	23年3月期2Q	3,323,912 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「添付資料」3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当初平成23年3月に発生した東日本大震災による各企業の供給網の寸断、電力不足や放射性物質問題等により、景気は後退基調となりました。

後半には復興需要などにより回復の兆しが出始めたものの、欧州の財政不安・円高傾向・世界同時株安等、懸念材料も多い状況で推移しました。

当医療用ガス業界も、医療機関等のコスト意識の高まりや、業界内の競合の激化など、引続き厳しい環境にあります。

このような状況下、当社グループにおきましては、社会貢献を念頭に、総合的な医療サービスの提供と顧客ニーズに即した対応を心掛け、経営の効率化や合理化に努め、業績向上に向けた営業力の強化等を積極的に図ってまいりました。

これらの結果、売上高は4,098百万円(前年同四半期比2.6%増)となりました。一方損益面につきましては、厳しい市場環境のなか、前述の施策を推進してまいりましたが、経常利益が498百万円(前年同四半期比3.2%減)となり、四半期純利益は284百万円(前年同四半期比6.3%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門の需要は、引続き増加傾向にありますが、その上昇度合は緩やかであり、国の医療費抑制政策の影響や、平成24年4月の診療報酬並びに薬価の改訂を控えていることにより、今後の動向は不透明で、かつ業界内の競争も激化していることから、企業体力の維持・向上と取引基盤の拡充を図るべく、新規取引先の成約に向けた営業活動の強化と、既存取引先との取引拡大に注力するなど、各種営業努力を重ねております。

これらの結果、売上高は1,719百万円(前年同四半期比1.7%減)、セグメント利益は258百万円(前年同四半期7.1%増)となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は当社グループにおける重要な収益源とすべく恒常的に注力しており、担当者の営業スキルの向上を目的とした社内勉強会や、当社の知名度の向上と、取扱商品の周知を目的とした院内勉強会等を継続的に実施しております。

また、同部門に対する人員の集中的配置や、大規模医療機関への継続的勧誘が、徐々に成果に結び付きつつあります。

加えて、主力商品である在宅酸素療法用酸素供給装置において、従来からの営業活動を継続するとともに、新製品(商品名:パレッツ)を開発し、今後その拡販にも注力する予定です。

また、人口呼吸器やCPAP(持続陽圧呼吸療法一閉塞型睡眠時無呼吸症に対応する機器)の販売強化にも、引続き努めております。

これらの結果、売上高は1,518百万円(前年同四半期比7.1%増)、セグメント利益は216百万円(前年同四半期比18.0%増)となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、各医療機関より医療用ガス配管設備の工事・メンテナンス等、引続き受注は安定しており、前期受注済の工事の完成もあったことから、当第2四半期連結累計期間における売上高は306百万円(前年同四半期比32.8%増)となったものの、セグメント利益は3百万円(前年同四半期比80.4%減)となりました。

④有料老人ホーム関連事業

東京都杉並区阿佐ヶ谷で運営中の有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」は、平成22年12月に増床工事を行った関係で、一時的に低下した入居率の向上が最大の課題ですが、金融機関や入居者紹介業者等との連携強化という営業活動に加え、施設の立地条件の良さや施設内容が充実している点等が好感を得て、体験・短期間利用も含め着実に入居者は増加傾向にあります。

これらの結果、売上高は90百万円(前年同四半期比26.3%減)、セグメント損失は31百万円(前年同四半期セグメント損失3百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は11,072百万円(前連結会計年度末比272百万円増)となりました。これは主に、流動資産のうち、現金及び預金が308百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は3,418百万円(前連結会計年度末比67百万円増)となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が88百万円減少したこと、及び役員退職慰労引当金の増加30百万円、リース債務の増加132百万円があったこと等によるものであります。

純資産は7,654百万円(前連結会計年度末比205百万円増)となりました。これは主に、配当金の支払による減少66百万円及び当第2四半期純利益284百万円等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より308百万円増加し4,962百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は738百万円(前年同四半期は572百万円の獲得)となりました。

これは、税金等調整前第2四半期純利益が498百万円となったこと、減価償却費の計上215百万円があったこと、売上債権の回収234百万円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は163百万円(前年同四半期は196百万円の使用)となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出45百万円があったこと、投資有価証券の取得による支出114百万円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は266百万円(前年同四半期は164百万円の使用)となりました。

これは、リース債務の返済による支出141百万円があったこと、長期借入金の返済による支出58百万円があったこと、配当金の支払66百万円があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期における業績は概ね計画通りに進捗しており、前回公表(平成23年8月9日)の通期の業績予想に修正はありませんが、業績予想を見直す必要が生じた場合には、適時に見直し数値を開示する予定であります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,653,811	4,962,377
受取手形及び売掛金	1,698,626	1,465,097
たな卸資産	212,076	185,623
繰延税金資産	61,041	61,639
その他	36,294	77,422
貸倒引当金	△22,453	△11,652
流動資産合計	6,639,397	6,740,508
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	662,981	640,159
土地	1,851,903	1,851,903
その他(純額)	668,222	710,502
有形固定資産合計	3,183,106	3,202,565
無形固定資産	84,830	136,767
投資その他の資産		
投資有価証券	417,473	470,639
その他	478,563	524,686
貸倒引当金	△3,229	△2,245
投資その他の資産合計	892,807	993,080
固定資産合計	4,160,744	4,332,413
資産合計	10,800,141	11,072,922
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,333,966	1,245,861
1年内返済予定の長期借入金	117,636	117,636
未払法人税等	126,124	211,943
賞与引当金	101,000	90,958
その他	604,229	613,643
流動負債合計	2,282,956	2,280,042
固定負債		
長期借入金	352,955	294,137
役員退職慰労引当金	413,597	443,657
長期預り保証金	18,851	19,303
その他	283,033	381,401
固定負債合計	1,068,437	1,138,500
負債合計	3,351,393	3,418,542

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	6,792,428	7,009,958
自己株式	△467,025	△467,116
株主資本合計	7,275,291	7,492,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,832	4,304
その他の包括利益累計額合計	20,832	4,304
少数株主持分	152,623	157,343
純資産合計	7,448,748	7,654,379
負債純資産合計	10,800,141	11,072,922

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	3,993,899	4,098,604
売上原価	1,747,123	1,861,695
売上総利益	2,246,775	2,236,909
販売費及び一般管理費	1,753,576	1,746,412
営業利益	493,198	490,496
営業外収益		
受取利息	4,404	4,997
受取配当金	5,946	6,480
その他	14,851	2,753
営業外収益合計	25,201	14,230
営業外費用		
支払利息	3,199	5,825
営業外費用合計	3,199	5,825
経常利益	515,201	498,901
特別利益		
投資有価証券売却益	—	600
特別利益合計	—	600
特別損失		
固定資産除却損	3,819	796
特別損失合計	3,819	796
税金等調整前四半期純利益	511,382	498,705
法人税等	203,794	209,149
少数株主損益調整前四半期純利益	307,587	289,555
少数株主利益	4,337	5,547
四半期純利益	303,249	284,007

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	307,587	289,555
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,481	△17,356
その他の包括利益合計	△40,481	△17,356
四半期包括利益	267,106	272,199
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	264,678	267,479
少数株主に係る四半期包括利益	2,427	4,719

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	511,382	498,705
減価償却費	182,001	215,198
のれん償却額	6,500	6,500
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△0	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	18,300	30,060
貸倒引当金の増減額(△は減少)	710	△11,785
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,600	△10,041
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△600
受取利息及び受取配当金	△10,350	△11,477
支払利息	3,199	5,825
有形固定資産除売却損益(△は益)	3,819	796
売上債権の増減額(△は増加)	111,229	234,373
たな卸資産の増減額(△は増加)	△27,272	26,453
仕入債務の増減額(△は減少)	△83,471	△88,105
その他	5,994	△44,597
小計	730,641	851,305
利息及び配当金の受取額	9,980	11,129
利息の支払額	△3,199	△5,646
法人税等の支払額	△199,727	△118,232
法人税等の還付額	35,224	213
営業活動によるキャッシュ・フロー	572,919	738,769
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△9,543	△114,523
投資有価証券の売却による収入	—	2,100
有形固定資産の取得による支出	△174,021	△45,288
無形固定資産の取得による支出	—	△605
長期貸付金の回収による収入	5,727	8,451
その他の支出	△19,378	△15,824
その他の収入	410	1,971
投資活動によるキャッシュ・フロー	△196,806	△163,719
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△97,437	△141,471
長期借入金の返済による支出	—	△58,818
自己株式の取得による支出	△19	△90
配当金の支払額	△66,564	△66,103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△164,020	△266,484
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	212,093	308,565
現金及び現金同等物の期首残高	3,803,657	4,653,811
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,015,750	4,962,377

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	有料老人 ホーム 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,749,753	1,417,692	222,923	122,335	3,512,705	481,193	3,993,899
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	8,130	—	8,130	933	9,063
計	1,749,753	1,417,692	231,053	122,335	3,520,835	482,127	4,002,962
セグメント利益 又は損失(△)	241,305	183,739	17,370	△3,129	439,285	61,850	501,135

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護福祉関連レンタル事業、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	439,285
「その他」の区分の利益	61,850
セグメント間取引の消去	△7,936
四半期連結損益計算書の営業利益	493,198

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	有料老人 ホーム 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,719,531	1,518,725	298,480	90,177	3,626,914	471,690	4,098,604
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	8,285	—	8,285	—	8,285
計	1,719,531	1,518,725	306,765	90,177	3,635,199	471,690	4,106,889
セグメント利益 又は損失(△)	258,532	216,881	3,409	△31,687	447,135	43,843	490,979

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護福祉関連レンタル事業、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	447,135
「その他」の区分の利益	43,843
セグメント間取引の消去	△482
四半期連結損益計算書の営業利益	490,496

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。